

文部科学省特別選定

いつもの幼稚園に戻ること 2011年 岩手県大槌町

東日本大震災で岩手県大槌町は甚大な被害を受けた。
その中で幼稚園は子どもたちをどのように避難させたか。
怖い体験をした子どもたちはどの様に元気を取り戻したか。
被災した幼稚園の貴重な映像の記録である。



(財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

理事長 田中雅道

2011年3月11日、東日本の大震災と大津波が襲いかかり、子どもたちは、家や幼稚園で自然の持つ“恐ろしさ”を体験し、それぞれの心に大きなダメージを受けましたが、傷ついた心は“いつも”の幼稚園が戻ってくることによって癒されていきました。この映像は、地域の幼児教育の核として、幼稚園が復興に向けてさまざまな困難を克服していく貴重な記録です。多くの方に観ていただけることを祈っています。

利用対象者

保育者、保護者、幼児教育研究者、幼児教育養成系学生、行政関係者、一般

企画・制作

(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

制作

幼児教育映像制作委員会

協賛

全日本私立幼稚園連合会「こどもがまんなかプロジェクト」推進委員会

全日本私立幼稚園PTA連合会

(財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 (私学会館別館)

TEL03-3237-1080 FAX03-3263-7038

E-mail : info@youchien-kikou.com <http://www.youchien-kikou.com>

いつもの幼稚園に戻ること 2011年 岩手県大槌町

DVD
(60分)

企画・制作 (財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構／制作 幼児教育映像制作委員会

内 容

地震の時、おさなご幼稚園は降園の時間帯で、17人の子どもたちがバスを待っているところだった。地震がおさまるのを待って、先生たちと裏山に避難し、子どもたちは全員無事だった。町の沿岸部は地震、津波、火災に襲われ、幼稚園も津波の被害に遭い、多くの遊具が流されたり、泥に埋まってしまった。先生たちは毎日泥をかいて、ようやく園を再開することができ、子どもたちが戻ってきた。しかし津波で怖い体験をしたナナちゃんはすぐに幼稚園に戻ることができず、笑顔も消えてしまった。2か月後、ナナちゃんは先生と友だちのいる幼稚園に通えるようになり、次第に笑顔が戻ってきた。

海からおよそ1.4キロメートルに位置するみどり幼稚園は、地震の後、40人の子どもたちと先生がバスで高台に避難して全員無事だった。しかし園舎は2階まで津波に襲われ、使うことができなくなってしまったため、高校の同窓会館を借りて再開した。借りた期限が間近になって、園はようやく新たな場所に仮設の園舎の建設工事を始めることができた。

震災によって子どもも、大人も生活の基盤が奪われ、心の安定を失ったが、友だちがいて、先生がいるいつもの幼稚園は、かつての暮らしを取り戻させてくれる大切な場所であることを、改めて気づかせてくれた。



語り／佐々木優子
構成・演出／山田博之
撮影／金山芳和
録音／西島房宏、菅野弘一
音効・MA／黒澤道雄
プロデューサー／田村 恵